

令和4年二級建築士試験
「設計製図の試験」標準解答例の公表について

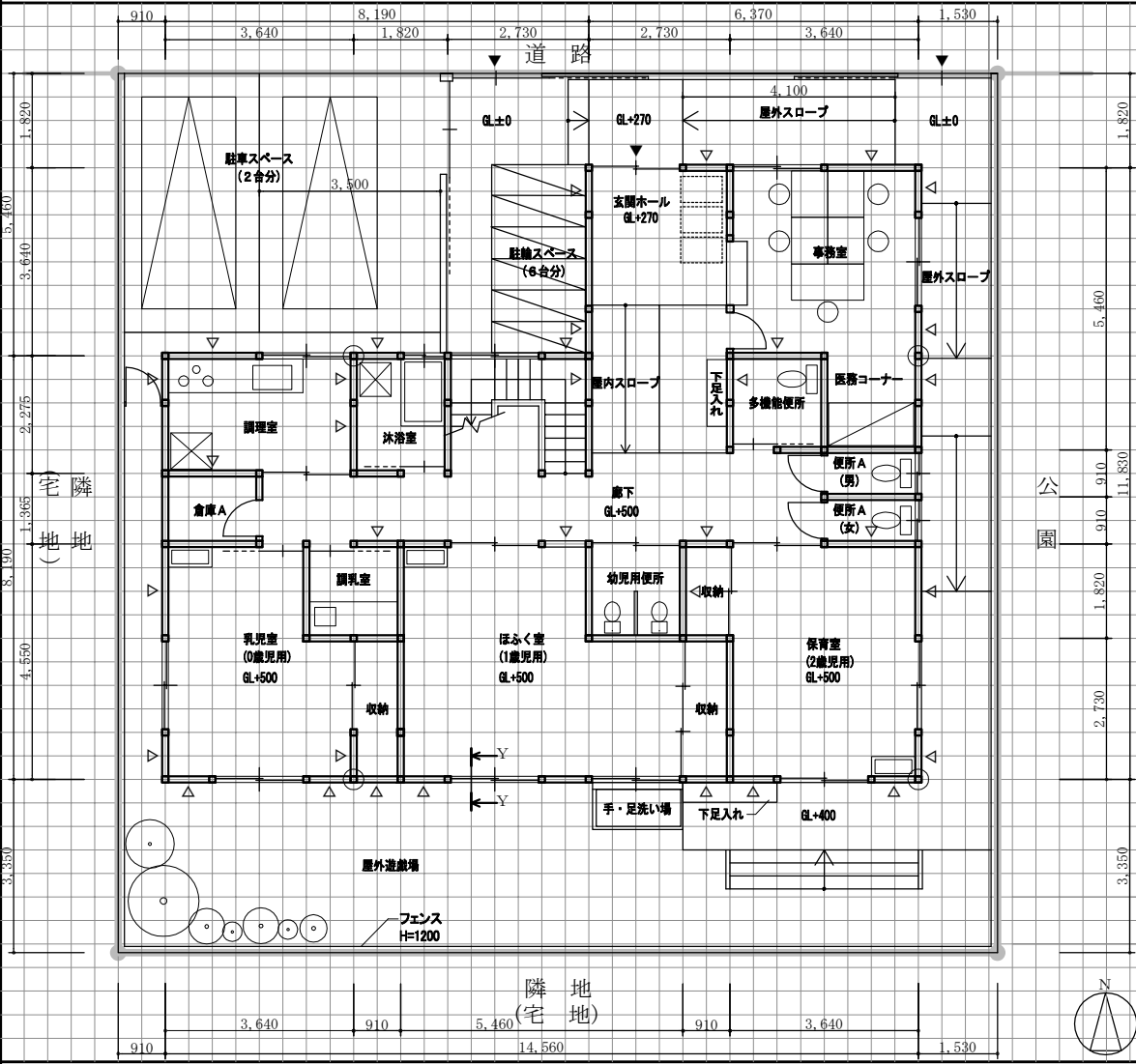
令和4年9月11日(日)に実施されました標記試験の標準解答例(合格水準の標準的な解答例をいう。)を下記のとおり公表します。

二級建築士試験は、建築士法第13条及び第15条の6の規定に基づいて、全国47都道府県の指定試験機関である当センター(理事長 井上 勝徳)が実施しています。

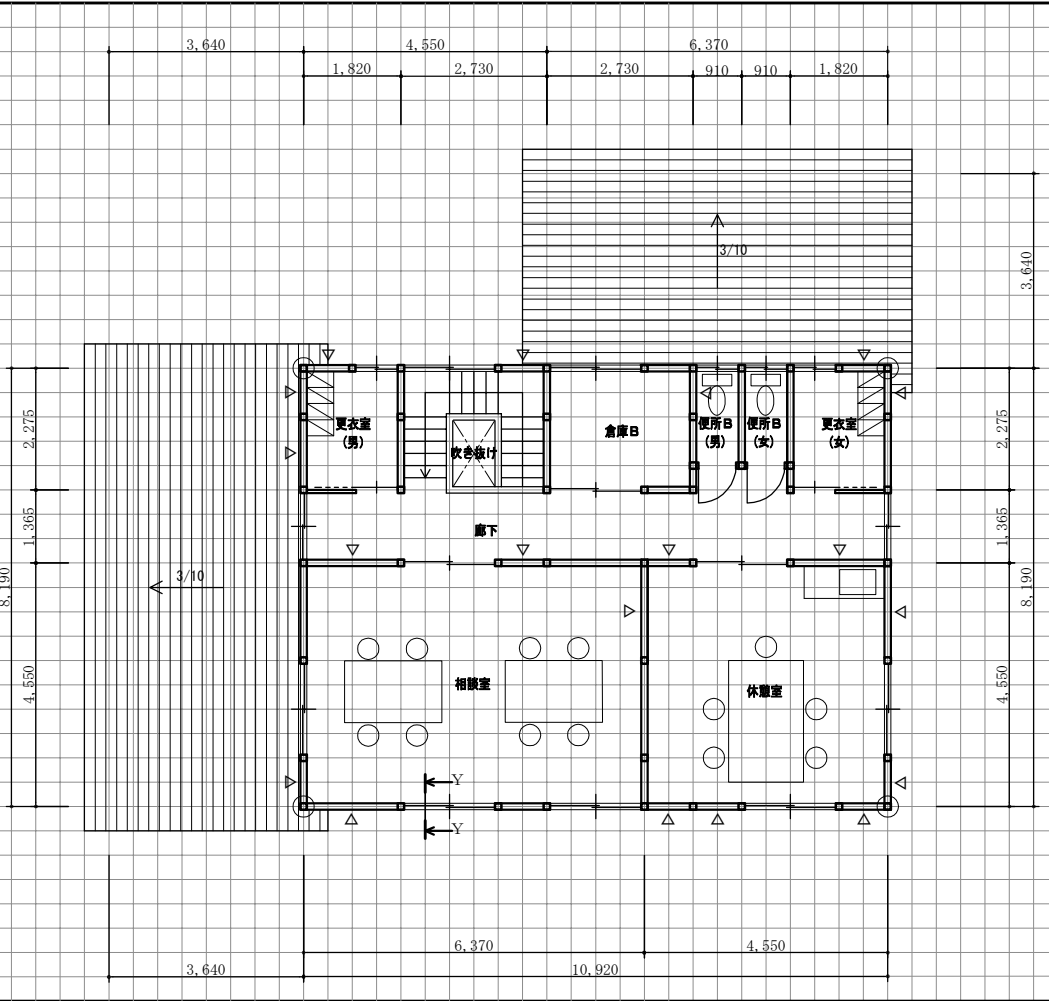
記

1. 標準解答例は、試験の透明性を高めるとともに、建築士を志す者に対して、習得すべき知識及び技能(二級建築士として備えるべき「建築物の設計に必要な基本的かつ総合的な知識及び技能」をいう。)の目安を示す資料として、当センターに設置された試験委員会で作成されたものです。この標準解答例は、インターネット上の当センターのホームページ(URL <https://www.jaeic.or.jp/>)に掲載します。なお、標準解答例は、合格水準の標準的な解答例を示すことを意図したものです。
2. 矩計図及び計画の要点等については、公表することにより、解答パターンが定型化するなど、適正な試験実施に影響を及ぼすことが想定されることから、公表しておりません。
3. この標準解答例を転載・複製等する場合は、当センターの許諾を得てください。
4. この標準解答例に対する質問・問合せについては、一切お答えいたしません。

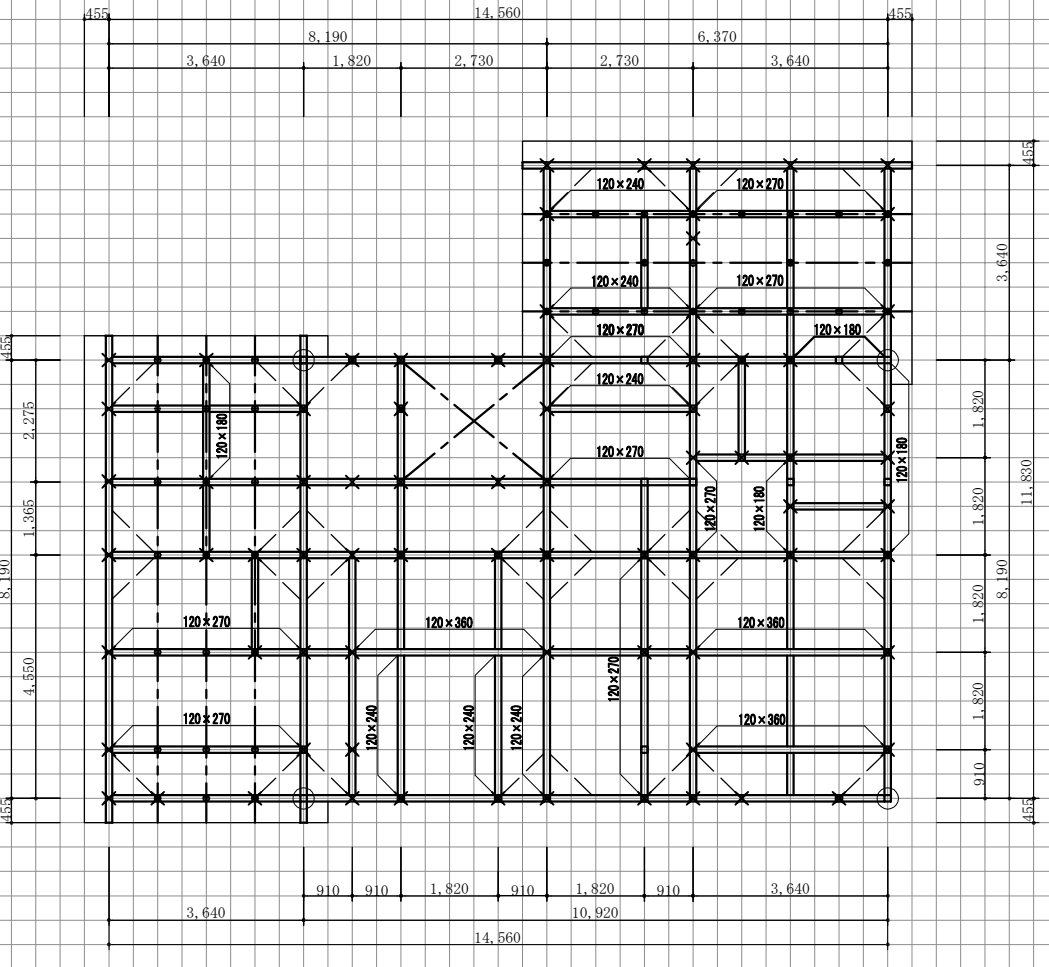
1階平面図 兼 配置図 縮尺1/100 (目盛4.55mm)



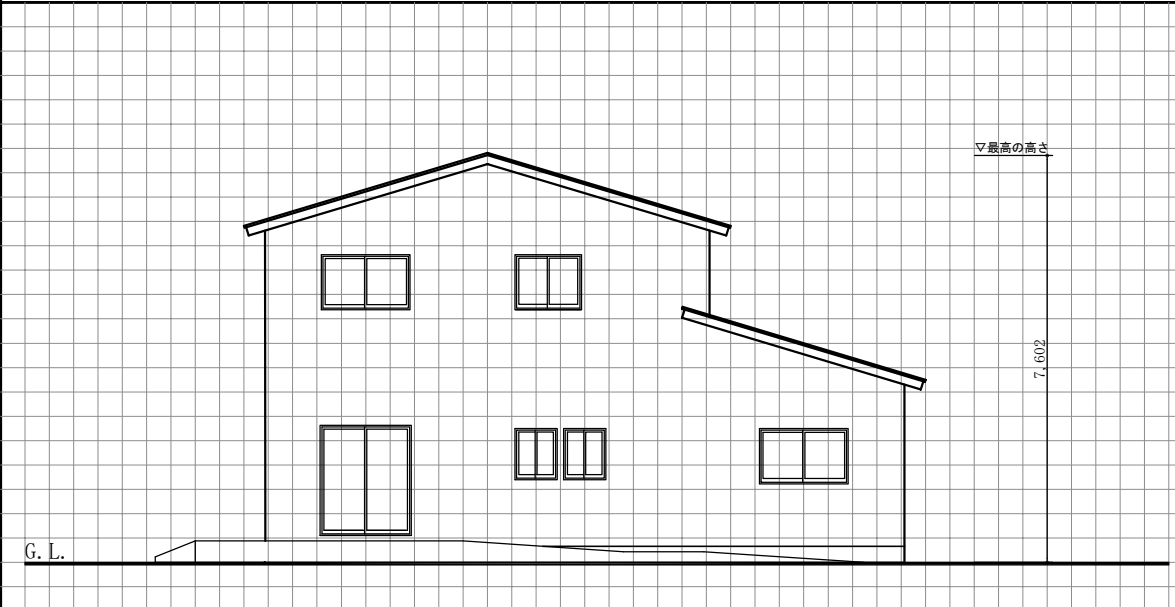
2階平面図 縮尺1/100 (目盛4.55mm)



2階床伏図兼1階小屋伏図 縮尺1/100 (目盛4.55mm)



東側立面図 縮尺1/100 (目盛4.55mm)



面積表	敷地面積	289.00 m ²		
	建築面積	(計算式) (14.56 × 8.19) + (6.37 × 3.64)	142.43 m ²	
	床面積	1階	(計算式) (14.56 × 8.19) + (6.37 × 3.64)	142.43 m ²
		2階	(計算式) (10.92 × 8.19) - (1.365 × 0.91)	88.19 m ²
	延べ面積	①+②	230.62 m ²	

標準解答例

- 標準解答例は、試験の透明性を高めるとともに、建築士を志す者に対して、習得すべき知識及び技能（二級建築士として備えるべき「建築物の設計に必要な基本的かつ総括的な知識及び技能」をいう。）の目安を示す資料として、当センターに設置された試験委員会で作成されたものです。この標準解答例は、インターネット上の当センターのホームページ (URL <https://www.jaic.or.jp/>) に掲載します。なお、標準解答例は、合格水準の標準的な解答例を示すことを意図したものです。
- 矩計図及び計画の要点等については、公表することにより、解答パターンが定型化するなど、適正な試験実施に影響を及ぼすことが想定されることから、公表しておりません。

個人利用の目的以外には、当センターに無断で転載・複製することを禁じます。

凡例	通し柱	1階の管柱	2階の管柱	1階と2階が重なる管柱	胴差・2階床梁・桁・小屋梁	火打梁	棟木・小屋束	母屋・小屋束
表示記号								
断面寸法の記入欄 (mm)	120 × 120	120 × 120	120 × 120		120 × 120	図中に記入	図中に記入	105 × 105